

# 病気を抱えた子の生活を考える

今は、小児科にかかっているけれども、大人になったらどこにかかるの？  
過保護だと思われるけど、やっぱり手をかけすぎなのかな？  
こんな不安はありませんか？

子ども達の育ちを長い目で見たとときに、今、心がけておきたいことを  
3人の講師の方々に、それぞれの立場でお話ししていただきます。



日 時：令和元年 5月 26日（日）

13：30～15：30（受付：13：00～）

場 所：わかくさ・プラザ 音楽室 ※地図は裏面にあります

対 象：病気を抱えたお子さん、ご家族、学校関係者、支援者など

参加無料

託児あります  
（要予約）

◎13：30～14：30 講演会

講演① 「小児難病の移行期医療を考える」

～先天性心疾患を通して～

面家 健太郎先生 あわのこどもクリニック院長

岐阜大学医学部附属病院 小児科

講演② 「学校との関わり」

患者家族 混合型脈管奇形の会 代表

講演③ 「移行期における親子のかかわり」

菅原 隆成先生 朝日大学保健医療学部 看護学科小児看護学助手

◎14：40～15：30



面家 健太郎先生

2000年岐阜大学医学部医学科をご卒業後、附属病院小児科、国立循環器病センター等で研鑽を積み、2008年から2018年まで岐阜県総合医療センター小児循環器内科にて県内のみならず広域の患者さんの診療に邁進されてきました。また同センターの小児集中治療室でも最重症のお子さんの診療にも携わってこられました。2019年4月に開業され、地域医療の充実はもとより、慢性疾患を背景に持つ患者さんが、遠くの専門施設に通いにくい場合のサポート体制も整えられています。

今回は、小児科から成人中心の医療に移行する時、必要なケアを中断することなく成人期の適切なケアにつなげるための心得にも触れてお話ししていただきます。健やかな自立を促すためのヒントとなる内容になるかと思っておりますので、教育関係者や支援者の方の参加もお待ちしています。

【主催・問合せ先】 難病生きがいサポートセンター

TEL/FAX 058-214-8733

Eメール [gifunanbyo.kng@gifu.email.ne.jp](mailto:gifunanbyo.kng@gifu.email.ne.jp)

【後援】 岐阜県教育委員会

関市教育委員会

武儀医師会

# 【 わかくさ・プラザ 】

関市若草通2丁目1番地

